

学園便り

Vol.107

特集1

大学祭 2~3

語学研修報告 4

特集2

各相談室情報 5

ピア・サポートって何? / 就職支援室 / 学生よろず相談室

ホットな話題・研究 6

プラズマを利用した薄膜新材料の開発

情報処理センターからのお知らせ ... 7

新しいウイルス対策ソフトの全学ライセンスに関して

TOPIC 8~9

父母懇談会 / 給水ボランティア体験談 / 夢を育むe-学生支援

サークル結果報告 10

北海道地区大学体育大会 / 全国国立工業大学柔剣道大会

お知らせ 11

保健管理センター / ~生協から~

後期学事日程 12

第45回 北見工業大学大学祭

日時:平成19年10月20日(土)~21日(日)

○ステージ企画

- ・マテリアルズ VS 軽音楽部LIVE
- ・のど自慢大会
- ・よさこい薄荷童子
- ・バルーンアタック
- ・クイズ大会
- ・女装改めコスプレコンテスト
- ・ビンゴ大会
- ・ダンス大会

○各種イベント

- ・奨学・奨励賞授与式
- ・もちつき
- ・キャンパス公開ツアー
- ・24時間たすきリレー
- ・映画「不都合な真実」上映及びパネル展

今年度は、はしかの影響もあり、6月に予定していた大学祭が延期になり、10月20日、21日の日程で行われました。

20日には父母懇談会(北見会場)、21日には映画上映会なども行われ評判を得ていました。

ステージ企画 今年も各企画熱い戦いが繰り広げられました。



バルーンアタック

風船をふくらましより多く割るという単純なゲーム。しかし、同点再試合が続くなど白熱しました。

今年度も美女(?)揃いの大接戦でした。



女装改め コスプレコンテスト

のど自慢大会



よさこい薄荷童子

毎年恒例となりました。今年も会場が一体となってよさこいを楽しみました。



ダンス大会



その他企画も盛り上がっていました。

各種イベント

奨学・奨励賞授与式

学業の奨励を目的に設けられた奨学・奨励賞授与式が行われ、学業成績・人物ともに優れた学部及び大学院の学生27名が受賞しました。

大学祭特設ステージで予定していましたが、天候の影響で第1会議室において実施されました。授賞式では常本学長から賞状と副賞が一人一人に授与されました。受賞者は以下のとおりです。

■平成18年度奨学・奨励賞受賞者

学部	学 科	1 年 次	2 年 次	3 年 次
学 部	機械システム工学科	秋田谷勇太	米山 一豊	佐伯 一夢
	電気電子工学科	山崎 桂輔	小林斗志樹	森山 貴広
	情報システム工学科	山村 英慶	志摩 優希	五十地 扶
	化学システム工学科	小林 優太	松原 慎治	瀨屋 悟
	機能材料工学科	安藤 雅郎	榎本 洋一	笹木 裕生
	土木開発工学科	栗栖 高	西田 雄紀	土田 悠樹



大前期博士課程	専 攻	1 年 次	専 攻	2 年 次
大前期博士課程	機械システム工学専攻	仙台谷 学	化学システム工学専攻	荻野 享太
	電気電子工学専攻	盛田 雄貴	機能材料工学専攻	加納 弘樹
	情報システム工学専攻	木村 祐司	土木開発工学専攻	若杉 洋
大後期博士課程	専 攻	1 年 次	2 年 次	
大後期博士課程	システム工学専攻	河野 義樹	Muyeen S.M.	
	物質工学専攻	佐藤 勝	推薦なし	

キャンパス公開ツアー

普段、学外の方が目にする機会の少ない、本学で行われている研究の内容を、やさしく楽しく紹介するものです。

9つの実験テーマが設けられ、スタンプラリー方式で、参加者に自由に研究室を訪れていただきました。学内の端から端まで全ての実験テーマを回り、9つのスタンプが並んだカードを提出した人も多くいました。スタンプカードを提出してくれた人には、抽選により記念品が贈られました。

実験テーマは以下のとおりです。

- ・QVICで超立体視 ・ロボコンデモンストレーション ・エアコンの省エネ運転とは？ ・光学ワンダーランド
- ・高分子の不思議な構造“球晶”を見よう！ ・化学で遊ぼう!! ・サーモグラフィーで見る熱の世界
- ・あの物質はどうやってつくるの？ 液晶はこうやって作る！ ・波による物の移動と地球自転の効果

24時間たすきりレー

第4回24時間たすきりレーが19日(金)、20日(土)本学陸上競技場で行われました。今年は780週(312km)と記録更新はできなかったのですが、10月の寒空の下一度も途切れることなく完走しました。

参加人数は74人(一般参加51人、陸上部23人)で最も多く周回したのは陸上競技部大村聖弥くんで104周(41.6km)でした。



映画「不都合な真実」上映及びパネル展

北見工業大学環境教育推進事業としてアメリカ前副大統領アル・ゴア氏が伝える環境ドキュメンタリー映画「不都合な真実」の上映会及びパネル展示が行われました。

上映には、一般来学者、学生教職員など合計248人が訪れました。



大学祭実行委員長から

大学祭実行委員長の山口です。今回、こうして無事に大学祭を終えることが出来たのも、皆様のご協力のおかげです！本当に有難うございました！！

聞いた話ですが、来年はもっと面白くなるそうですよ(笑)乞うご期待！



—トロントの思い出—

機械システム工学科 3年 小谷 高史



私たちが一ヶ月間過ごしたトロントは、カナダで最も大きな都市です。世界で一、二の高さを誇る建物、CNタワーをはじめ、巨大で近代的なビルが縦横無尽に立ち並ぶ一方、由緒ある建造物や、自然あふれる公園がたくさんある、大都市と自然が調和したとてもきれいな街でした。

私たちが通ったハンバーカレッジでの授業は、先生が一方的にしゃべるのではなく、学生もどんどん意見を言う対話形式の授業でした。ディスカッションでは、はじめは自分の意見を結構言うことができたような気がします。それは、欧米の授業はディスカッション形式が多いというのが予想の範疇であったからだと思います。しかし、問題はその後でした。リスニング力が弱いため、質問や意見を受けるととたんに何を言え

ばいいのかわからなくなります。つまり、基本的に自分からの一方通行の発言しか出来ませんでした。しかし、日が経つにつれて、少しずつ聞き取ることが出来るようになってきて、相手に同じことを聞き返す回数が減りました。先生方はとても親切で、授業や宿題をなかなか理解できないでいる私たちに何度も言い回しを変えて説明してくれたり、授業の外でも声をかけて励ましてくれたりしました。ある先生の、クラスにおいて最も大切なことは“make mistakes”というセリフがとても印象に残っています。

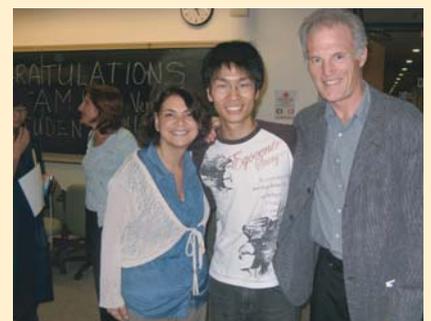
ホストファミリーは、両親と子供3人の5人家族でした。子供たちはとてもかわいく、学校から帰るとよく4人でサッカーやホッケーをして遊びました。授業のあとで疲れていても、彼らの笑顔を見ると疲労感なんて一瞬で吹き飛びました。ホストマザーが彼らのピクスミイルをよく自慢しており、私が自分の家族写真を見せると、「なぜみんな笑っていないの?」と言われてしまいました。

一ヶ月の間にいろいろなところを観光しました。CNタワーや、カ

サ・ロマという古城、州立議事堂やシティホール、ナイアガラの滝にも、バスで2時間くらいかけて見に行きました。メジャーリーグは2回も観戦しました。トロントのチーム、ブルージェイズ対ヤンキーズとレッドソックスとの試合で、松坂は見る事ができませんでしたが、松井は近くで見ることができ、皆で拍手喝采を送りました。



今回の研修は、本当に楽しい、価値のある経験でした。とても満足しています。これだけ多くの刺激を受ける機会は滅多にないと思います。自分の英語力の未熟さに辛くなる時もありましたし、これからの自分に対する多くの課題が積み上げられていったような、そんな感覚もあります。でも、本当に多くの人に助けられて、多くの優しさに触れることができました。引率のボゼック先生をはじめとする研修関係者の方々、本当にありがとうございました。



各相談室情報

ピア・サポートって何？

突然ですが、クイズです。

Q. ピア・サポートは英語で書くと次のどれ？

- ① PEAR SUPPORT
- ② PIEAR SUPPORT
- ③ PEER SUPPORT

ピア・サポートとは？

クイズの答えは、③PEER (仲間) SUPPORT (支援) です。ピア・サポートは、相談者と同じ立場にある学生 (ピア・サポーター) が、学習面や生活面における事柄について、相談者から話を聞き、カウンセラーや教職員と連携をとりながら、相談者の抱える多種多様な問題の解決に関わっていく取り組みです。

北見工業大学のピア・サポート制度

北見工業大学でも、ピア・サポート制度を立ち上げるべく、今年の7

月に学内掲示を通じてピア・サポーターを募集したところ31名の応募がありました。自分から進んで応募した人、仲間に誘われて何となく応募した人、先に応募した先輩に学生支援課に連れて来られ、訳も分からないまま、気がついたら応募用紙に名前を書いていた人。応募のきっかけは人それぞれですが、皆、9月に行われた2日間のピア・サポーター研修を真剣な面持ちで受講し、10月からピア・サポーターとしての第一歩を踏み出しました。

Q. ピア・サポートはいつやっているの？

A. 平日 15:00~17:00

Q. どこに行けばいいの？

A. ピア・サポート室 (大学会館2F) にピア・サポーターがいます。

Q. どうやってコンタクトをとればいいのか？

A. ピア・サポーターに何か話したいことがある場合は、直接、ピア・サポート室を気軽にたずねてきてください。予約をしたい場合はメール、又は学生支援課で受け付けています。

E-mail : peer@desk.kitami-it.ac.jp
URL : http://www.kitami-it.ac.jp/students_info/life/peer_support.html

ピア・サポートに少しでも興味を持ったという人は、学生支援課にどうぞ。



北見工業大学では、ピア・サポート室以外に次のような相談窓口があります。

就職支援室



就職支援室では、下記の室員の先生方が、それぞれのオフィスアワーに進路の相談に応じています。(時間については掲示板又はホームページ (http://www.kitami-it.ac.jp/students_info/life/syoku/shinro.html) を見てください。)

機械システム工学科	山田 貴延先生
電気電子工学科	垣本 直人先生
情報システム工学科	藤原 祥隆先生
化学システム工学科	中谷 久之先生
機能材料工学科	村田 美樹先生
土木開発工学科	後藤 隆司先生

学生よろず相談室



学生よろず相談室では、毎週火曜、木曜の15:00~17:00、下記の室員の先生方が学生生活の様々な相談に応じています。(時間については掲示板又はホームページ (http://www.kitami-it.ac.jp/students_info/life/soudanschedule.html) を見てください。)

機械システム工学科	菅原 幸夫先生
情報システム工学科	山田 浩嗣先生
情報システム工学科	中垣 淳先生
機能材料工学科	射水 雄三先生
機能材料工学科	川村みどり先生
土木開発工学科	伊藤 陽司先生
共通講座	平野 温美先生
共通講座	柳 等先生

プラズマを利用した薄膜新材料の開発

ナノ表面材料創成・加工研究推進センター 教授 阿部良夫

パソコンや携帯電話、液晶テレビなどの電子機器の性能が急速に向上していますが、これには集積回路(IC)や液晶ディスプレイなどの電子デバイスの進歩が大きく貢献しています。この集積回路や液晶ディスプレイの中で、微細なトランジスタやコンデンサ、配線などを構成しているのが、厚さが1マイクロメートルよりも薄い、薄膜材料です。本研究推進センターでは、主として図1に示したスパッタリング法を使って、新しい薄膜材料の開発をしてい

ます。スパッタリング法では、低圧力ガスに高電圧を加えて放電させ、プラズマを作ります。プラズマ中のイオンが原料ターゲットの原子を弾き飛ばすことで、基板表面に薄膜が堆積するので、原料ターゲットとガスを適当に選ぶことで、金属、セラミックス、有機物など様々な材質の薄膜を作製することができます。

最近研究を進めている材料に、水酸化物薄膜があります。この場合の反応ガスとして水(H₂O)を使うと、プラズマ中で分解してH原子やOH

ラジカルが生成し、OH基を含む薄膜を作ることができます。この方法で、高イオン伝導性の固体電解質薄膜や優れたエレクトロクロミック特性(電気化学的な酸化還元反応により物質の色が変わる性質)を持った薄膜が作製できます。これらの材料は、薄膜電池や電子ペーパーなどの全固体・薄膜電気化学デバイスの実現に役立つものと期待しています。

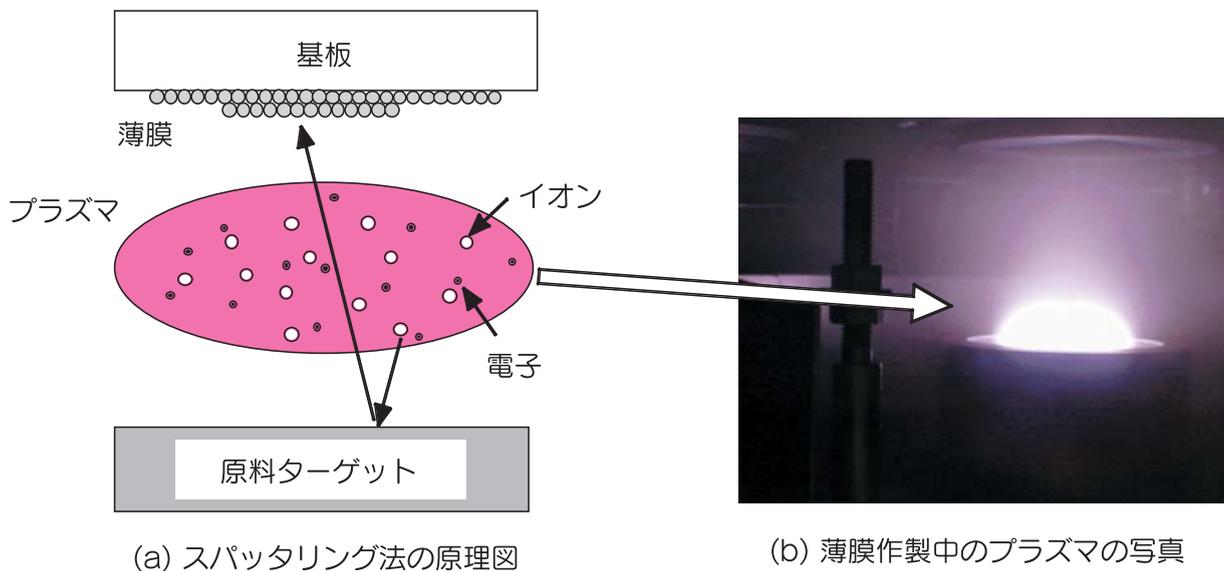


図1 スパッタリング法の原理とプラズマの写真

新しいウイルス対策ソフトの 全学ライセンスに関して

情報処理センター長 亀丸 俊一

この11月から新しいウイルス対策ソフトを全学ライセンスで契約し、これまで不可能だった、学生が大学へ持ち込むPCへもインストールが可能となりました。情報処理センター長としてこの件にかかわってきましたので、経過とその内容に関して報告します。

従来から大学備品のPCに限定して、シマンテック社「ノートンアンチウイルス」を全学ライセンス契約、インストールし、使用してきました。

一方私有のPCはこれまで学内へ持ち込むことは認められていませんでしたが、4年前からの新生生のノートブックPC必携化（機械システム、化学システム）にともない私有PCの学内使用が公に認められるようになりました。

ところが学生が購入するPCのうち、本学生協が推薦する機種は4年間有効なセキュリティ対策ソフトを

プリインストールしているのですが、新入生、学生が個人的に購入した機種に関しては不明（入っていない場合がほとんどと考えられる）でした。そして、今年度ウイルス源になった学生の持ち込みノートPCは全てウイルス対策をとっていませんでした。

シマンテック社の製品では、学生が持ち込む私有のPCをカバーするライセンス形態はありませんでした。しかし全学へのウイルス感染を防止するため、学生が持ち込むすべてのPCにも対策ソフトをインストールする必要があります。学長先生も、「個々の学生の対応には限界があるので、大学がライセンス料を払ってでも、学生PCへのウイルス対策ソフトインストールを指導しましょう」とおっしゃっています。

そこでいくつかの代理店と交渉し、契約内容を吟味した結果、大学

が負担するライセンスで在学生の持ち込むPCもカバーしてくれる契約が成立しました。

ウイルス対策のエンジンは「カスペルスキー」研究所が開発したもので、比較的新しい製品ではありますが、ウイルス検知、排除の性能が高いものです。

今後は、まず大学の備品PCから始まり、順次学生の学内へ持ち込む私有PCへのインストール作業へと進みます。有効なウイルス対策ソフトがインストールされていないPCへは各自で責任を持ってインストールしてもらうこととなります。作業に関しては、センターからの掲示でお知らせします。注意してください。そしてこの機会に、学内へ持ち込むPCには、必ず有効なウイルス対策ソフトをインストールしてください



平成19年度父母懇談会(秋季・仙台、北見、大阪)を実施

父母懇談会は、平成8年度から保護者（父母）に対する大学からのメッセージの発信、父母からの修学・進学・就職相談などを主な目的として実施されています。

当初は、札幌、北見の2カ所で行っていましたが、平成16年の法人化以降道外地区でも実施してきています。特に道外の会場にはその地区の本学同窓会役員などの協力を得て、最近の就職情報を伝えていただき、大変好評を得ています。

今回は秋季に実施した3カ所（今年度は春季の札幌地区を含め4カ所で行った）の実施概要を報告します。

【仙 台】

平成19年9月9日（日）東北大学医学部良陵（ごんりょう）会館を会場として、44組68名の父母が参加し実施されました。

全体説明会において、常本学長からは「本学の使命とその特色について」と題して、本学の教育の魅力や研究の特徴、また技術者として働くことの面白さについて、小林副学長からは「本学の教育及び就職状況等」について説明がありました。また、同窓会東北支部長の水野氏から「同窓会の活動について」として同窓会



の活動状況が報告されました。

その後、各学科、専攻別に実施された個別面談では、各学科の教員が対応し、父母からは多くの質問が投げかけられ、活発なやりとりが交わされました。また、個別面談までの待ち時間には常本学長、小林副学長及び東北地区の企業で活躍している本学同窓生6名による父母との質疑応答等の時間が設けられました。

【北 見】

平成19年10月20日（土）本学を会場として、118組174名の父母が参加し実施されました。全体説明会において、常本学長、小林副学長からの説明の後、学生後援会長から、後援会の活動状況が報告さ

れました。その後、各学科・専攻に分かれた個別面談では、各学科の教員が対応し、父母からは修学状況、就職問題等について質問が出され熱心にやりとりが交わされました。

今年は、例年6月に開催する大学祭が麻疹（はしか）の影響で延期となったため、父母懇談会に併せて開催しました。また、全体説明会会場入口で大学認定商品「雪まりも」の販売を行い、いずれも父母からは大変好評を博しました。

【大 阪】

平成19年11月10日（土）大阪府私学教育文化会館を会場として、84組111名の父母が参加し実施されました。全体説明会において、常本学長、小林副学長からの説明の後、同窓会関西支部長から同窓会の活動状況が報告されました。

全体説明会の後、個別面談までの待ち時間には、学長、副学長により、父母との質疑応答の時間が設けられ、修学に関する内容や学生をとりまく生活環境への質問や、学生が就職をするにあたって必要となるであろう基本事項や情報収集等、活発な質疑応答が行われました。



給水ボランティア活動

断水

北見工業大学 情報システム工学科4年 岡本 智典

北見市で大規模な断水がありました。実は、人助けを望む気持ちの奥に、非日常的な出来事への期待感もありました。大学で水が得



られる恵まれた環境の中で、事の深刻さが見えていなかったのです。

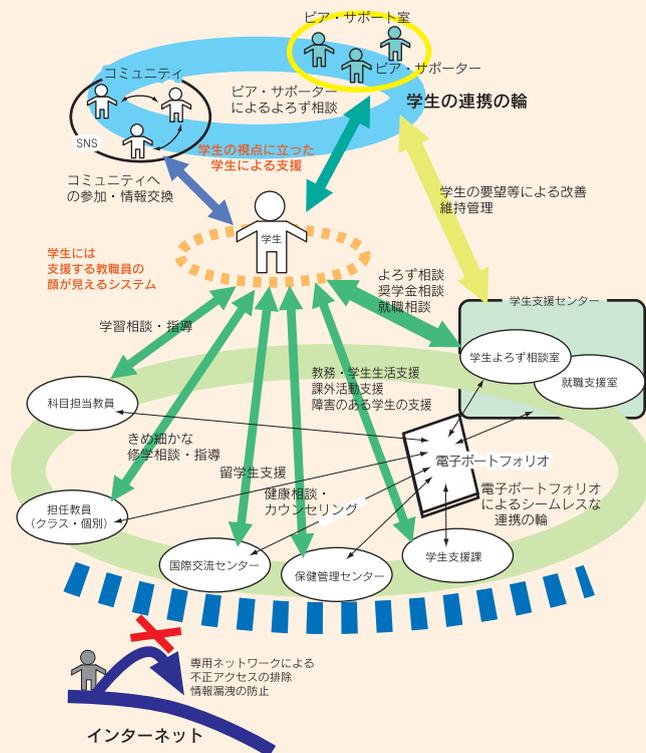
大学の給水所に行くと、そこは混雑し、水の重さで運搬作業に手間取っていました。特にお年寄りには大変な作業です。私は運搬作業を手伝い、混雑解消のため駐車場への案内をしました。私以外にもその場にいた学生は同じ行動を取り、さらに学内放送等で学生が集まり、それが「給水ボランティア活動」と呼ばれました。

断水は回数を重ね、私たちの活動も日常になっていた頃、疲労と苛立ちの顔で給水所に訪れる方が増えていました。それでも「助かります」と言って災害へ立ち向かう勇気を取り戻していく人々に、活動の意義を見出せた気がしています。誰かの対応を非難し合うより、一人一人の「自分に出来る事」を持ち寄る事が復旧への近道なのだと痛感しました。

「夢を育むe-学生支援」

本学では、学生が快適な学生生活を送り、社会での活躍にそれぞれ大きな『夢』を持って卒業していくための、IT（情報技術）を活用した学生支援の構築に取り組んでいます。この取組には3つの大きな柱があります。第1には、来年度から個別担任制を全学で実施し、教員は1学年あたり5人程度の学生を担当して、きめ細かな学生支援を行います。第2には、ITを活用して個々の学生の修学・生活状況等の情報を集約し、個別面談等での適切な助言や指導に活かします。第3には、ピア・サポート及びSNS（電子的な学生交流の場）を立ち上げ、学生同士の相談や交流・情報交換を活発化させて、学生の自主的活動を高めることで、学生による学生生活の良い環境づくりを支援するものです。

以上の取組を「夢を育むe-学生支援」としてまとめたところ、「新



たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム」（文部科学省・日本学生支援機構）に採択されました。

（申請272件、70件採択）今年度から平成22年度まで財政支援を受けて、この取組を進めていきます。

サークル結果報告

第54回北海道地区大学体育大会

第54回北海道地区大学体育大会が下記日程により、北見工業大学が当番大学となり、実施されました。

各サークルとも今大会は不本意な成績となりましたが、運営等積極的に取り組みました。

日 程 : 7月6日(金)～7月22日(日)

総 合 成 績 : 第17位(33大学中)

陸 上 競 技 : 第12位(14大学中)
(種目別上位 100m・200m決勝進出、
競歩 第2位、砲丸投 第4位)

バスケットボール : 1回戦敗退

バレーボール : 予選リーグ敗退

サ ッ カ ー : 1回戦敗退

バドミントン : ベスト8進出

柔 道 : 予選リーグ敗退

剣 道 : 予選リーグ敗退

弓 道 : 第7位(16大学中)



第43回全国国立工業大学柔剣道大会

第43回全国国立工業大学柔剣道大会が下記日程により、室蘭工業大学を主会場に開催されました。

今年度は、総合優勝を果たし、柔道・剣道、個人・団体ともにより成績を収め、日頃の練習の成果を発揮していました。

日 程 : 8月25日(土)

総 合 成 績 : 優 勝(6大学中)

【団体戦】

剣 道 : 第2位

柔 道 : 第1位

【個人戦】

剣 道(女子) : 渡 辺 春 菜 第3位

柔 道(男子) : 森 理 貴 第1位、樅 山 哲 也 第3位



お知らせ

保健管理センターに於ける放射線画像診断の展望

保健管理センター 本田 明

〔はじめに〕

本学保健管理センターに於ける放射線画像診断（X線撮影）は、現代医療レベルでは不十分な状況にありましたが、先進的な改良のめどが立ったため概説いたします。

当所にレントゲン室（X線撮影室）が存在することはご存知の方も多いかと思えます。しかし、画像の解像度、廃液処理の問題、作業の長時間化によるサービス低下等の問題があります。従って、胸部画像診断には不適合であり、骨の撮影が一昨年度まではときに実行されておりました。本年度、X線撮影処理のシステムの一部改良について、多くの皆様の理解を賜り、X線写真のデジタル画像化システムの導入が本年度中に可能となることになりました。

〔展望・予定〕

導入後は、胸部X線像も鮮明となり肺野の淡い陰影の描出も期待できます。廃液も出なくなり、処理の時間も短縮されると思われれます。IT化が可能で、モニター上で過去の画像との比較読影が可能となり、また紹介などに伴う他医療機関との画像のやりとりもデジタルデータとして可能です。

以上の日常一般診療の他、健康診断にも徐々に活用する予定です。まず、平成20年度は職員健診で試行し、大量撮影に混乱が生じなければ、平成21年度より学生健診にも導入予定です。皆さんは、健診のレントゲン撮影といえばレントゲン車での撮影（一般に間接撮影）をイメージされると思いますが、今後は段階的に、当所のレントゲン室での撮影（一般に直接撮影）となります。従前の間接撮影は、直接撮影より放射線被曝が多いとされ、レントゲン写真は掌大と小さく、拡大しても画像の情報量が増えるわけではありません。つまり、今後の本学における健診は、直接撮影となり、さらにデジタル化されるわけですから、以前より一段と優位性に勝ることになります。以下X線画像のデジタル化について説明いたします。

〔デジタル化の詳解〕

近年X線写真のデジタル画像化が成功し、その技術はCR（COMPUTED RADIOGRAPHY）と名付けられました。

現像等の管理をドライ化でき廃液処理が不要で、まさに本学でとりくんでいる環境ISO14001の精神に合致するシステムであるとともに画像の精度の向上、IT化による過去の画像との比較、他医療機関との連携等の推進が可能となる等の特徴があります。デジタルの安定した写真（確かな高画質診断像）の仕上がり（コンピュータが自動で補正）、ロスフィルムの低減、受診者の再撮影負荷の低減、（自動）現象機管理をドライ化、画像保管、管理をデータで行い、今後はカルテ電子化に活用できるデジタル化といえる特色があります。

一方、日経新聞によりますと平成19年10月31日の中央社会保険医療協議会（中 医協）の診療報酬基本問題小委員会では、画像診断の評価が検討項目の一つとされ、また、席上、厚生労働省は、画像のデジタル化の推進を図るとともに新たにフィルムレスによる画像診断を評価する加算を設ける方針を明らかにしました。患者の被曝線量が少ない、安定した画像の提供が可能、撮影の失敗が少ないなどのメリットがあり、また、この画像は、フィルムに出力せずモニターに表示することもできます。そこで、デジタル化の加算に代えて、フィルムレス化を促進するための加算を設けることを検討中とされました。厚労省はその理由として、フィルムレスの画像診断には地球環境への配慮をはじめ、多くのメリットがあると指摘しています。

以上のようにCRは徐々に市中の医療現場に導入されつつありますが、大学の保健管理施設での導入は遅れており、本学では先んじてCR本体を設置する予定となりました。残念ながらレントゲン撮影装置自体は、予算の関係もあり、以前の機材を使用いたします。日常診療において、結核や肺炎疑い時に、CRによる胸部レントゲン写真を撮影し、骨折疑い時には骨条件でのレントゲン写真の撮影などを試行し、コンピュータの自動補正で、デジタルの安定した写真の仕上がりが見られると期待されます。さらに、過去に蓄積した同一人物の画像があれば、すぐにモニター上で比較読影できる等の診断能力とサービスの向上を目指せると考えられ、学校保健の向上が期待できます。

〔終わりに〕

なお、導入後、従来法との比較検討も行う場合もあろうかと思いますが、その節にはご協力をよろしくお願いいたします。また当所はスケールメリットがなく、レントゲン技師が不在で、医師が一人二役で診療及び作業を行う為、簡略化されたとはいえ、診察、検査、結果説明等一連の流れの時間がかかることはお許しください。

CRの理論及びシステムは工学でありませんが、その応用、運用は医学であり、まさに本学の目指す医工連携のひとつの形です。また環境ISO14001への対応、学生及び職員に対する身体的疾患への支援の向上、さらにCR化に付随して、病診連携等とおしての地域連携推進等も期待できます。

追伸

インフルエンザが今シーズンは早くから流行するようです。インフルエンザ及び新型インフルエンザについては、昨年と同時期の本誌（VOL.103）に詳しく掲載されていますので参照してください。その文章中、咳エチケットに触れましたが、今年は、感染症関連学会、厚生労働省とも、この点を強調し、他の患者への感染拡大の防止のため、マスクの着用や人混みにおいて咳をする際の注意点について呼びかけています。

「咳エチケット」

- 咳・くしゃみの際にはティッシュなどで口と鼻を押さえ、他の人から顔をそむけ1m以上離れる。
- 呼吸器系分泌物（鼻汁・痰など）を含んだティッシュをすぐに蓋付きの廃棄物箱に捨てられる環境を整える。
- 咳をしている人にマスクの着用を促す。
- マスクの装着は説明書をよく読んで、正しく着用する。

なお、予防法としては市中医療機関でのワクチン接種をまずお勧めいたします。

生協からのお知らせ

生協1階購買がより便利になります。
2008年1月15日(火)より朝8:30から営業します。

4月開始を目標に、さらに利用しやすい営業時間を計画中です。



北見の冬はシバレルゼ!

毎年、冬の時期になると水道管の凍結事故が発生します。

特に年末の帰省する際に水抜きを忘れ、その間に水道管が破裂、水浸しになるケースが頻繁に発生しています。水道管だけでなく、給湯器やトイレも凍結します。水抜き方法はアパートによって違いますので、必ず大家さんに確認しましょう。

「水抜き」5原則

1. 最低気温が-5℃以下のときは必ず水抜き
2. 最高気温が氷点下のときは必ず水抜き
3. 帰省するときは必ず水抜き
4. 日中に冷え込みそうなら外出前も水抜き
5. 帰りが遅くなりそうなら外出前も水抜き



大家さんに100万円以上の金額を請求されたケースもあります。気をつけましょう!

後期学事日程

2007年

9月25日(火) ~ 9月28日(金)	集中講義期間・補講等調整期間
10月1日(月)	後期授業開始
10月1日(月)	秋季入学式
10月19日(金)	休講 大学祭準備
12月6日(木)	金曜日授業振替日
12月7日(金)	休講 推薦入学試験(予定)
12月22日(土) ~ 1月6日(日)	冬季休業日
12月25日(火) ~ 12月27日(木)	4年次再試験(卒業予定者)

2008年

1月7日(月) ~ 1月10日(木)	集中講義期間
1月11日(金)	補講日(10月19日分)
1月15日(火)	月曜日授業振替日
1月16日(水)	金曜日授業振替日
1月18日(金)	休講 大学入試センター試験準備
1月19日(土) ~ 1月20日(日)	大学入試センター試験
2月12日(火) ~ 2月22日(金)	後期定期試験(卒業研究審査を含む)
2月23日(土) ~ 3月31日(月)	学年末休業日
3月12日(水)	後期日程入学試験
3月17日(月)	学位記授与式
3月31日(月)	20年度編入生ガイダンス

平成19年11月発行

北見工業大学「学園便り」編集委員

射水 雄三(機能材料工学科)
榎本 浩之(土木開発工学科)
福士 航(共通講座)

ご意見・ご感想、掲載して欲しい記事、
イラスト・写真等を募集しています。

E-mail: gakusei03@desk.kitami-it.ac.jp
(学生支援課学生支援係)

下記URLにて「学園便り」のバックナンバー(VOL.89~)がご覧になれます。
http://www.kitami-it.ac.jp/students_info/life/dayori.html

●●● 学生支援課は『あなた!』を支援します。 ●●●